

茅ヶ崎市環境基本計画（2011 年版） 進捗状況報告書(平成30年度版)

平成29年度に実施した環境施策の検証報告と
市民・市民団体・事業者の取り組みに関する報告

クイズ ここはどこでしょうか？



ヒント

特に重要度の高い自然環境を有する、市内七つの「コア地域」の一つです。相模川に沿った地域で、河畔林も見られます。市内では珍しいオドリコソウの自生地です。



答えはこの裏面にあります

平成 30 年 6 月
茅ヶ崎市

はじめに

茅ヶ崎市では、近年ますます多様化する環境問題に対応するため、平成 23 年 3 月に「茅ヶ崎市環境基本計画(2011 年版)」を策定しました。この計画は、自然環境や生物多様性の保全、資源循環型社会や低炭素社会の構築を軸としており、市では平成 23 年度から、この計画に基づき様々な事業を実施しています。

本書は「茅ヶ崎市環境基本計画(2011 年版)」に基づき実施した、主な環境施策の取り組み状況の報告書です。本書では、計画に掲げた 19 の目標の進捗状況、37 の重点施策の実施状況、市による実績評価、課題等をお示ししています。

また、本書では、行政による施策の実施状況に加えて、市民・事業者などによる環境に関する取り組みについても紹介しています。茅ヶ崎市内ではすでに多くの市民や市民団体、事業者の方により、環境に関する取り組みが実施されています。本書の事例が、より多くの方々の「気づき」のきっかけとなり、環境に関する活動の普及と拡大につながれば幸いです。

平成 30 年 6 月

茅ヶ崎市長 服部 信明

表紙クイズの答え：平太夫新田(へいだゆうしんでん)

茅ヶ崎市環境基本計画(2011 年版)では、平成 15 年度から 17 年度に実施した「茅ヶ崎市自然環境評価調査」において特に重要な地域として挙げた七つの地域を、生物多様性の保全、生態系ネットワークの核(コア)となる「コア地域(※)」として優先的に保ずるとしています。コア地域の一つである平太夫新田は、相模川の河川敷に緑地が広がる地域で、市内では珍しいオドリコソウの自生地です。また、広がりのある草地とまとまりのある樹林地は生きもののたちの広域的な移動空間として重要な役割を果たしています。市は緑地保全のために、この地域の一部を占用しています。また、市民団体「相模川の河畔林を育てる会」が、生物多様性に配慮し、豊かな自然環境を次世代に残していくための保全管理や観察会などを行っています。

市では平成 30 年 2 月に「平太夫新田<相模川河川敷内市占用地>保全管理の考え方」を策定し、保全管理に対する考え方をまとめました。市は平太夫新田の自然環境の状況を確認しながら「相模川の河畔林を育てる会」と連携して、生物多様性に配慮し、希少性の高い動植物の生息・生育環境を保全するため、外来種除去などの保全管理作業を行います。

※コア地域については、本報告書 14・15 ページの「生物多様性を保全する『核(コア)』として重要な七つのコア地域」を御参照ください。

天皇の退位等に関する皇室典範特例法(平成 29 年法律第 63 号)が、平成 31 年 4 月 30 日に施行され、天皇陛下が御退位されます。御退位による皇位の継承が行われ、元号が改められますが、現段階においては、元号法(昭和 54 年法律第 43 号)の規定による政令の改正が行われていないため、本書における元号の表記は「平成」を用いることとします。